

平成21年4月1日

## 平成21年度定期採用者入庫式について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤寿臣）では本日午前10時より、平成21年度定期採用者の入庫式を行いました。今年度は、総合職75名、一般職39名、合計114名が入庫し、59部店に配属されました。入庫式では、斎藤理事長より以下の訓示がありました。

### \*理事長訓示の要旨

本日より横浜信用金庫の職員となられる皆様を心から歓迎します。

思い起こしますと皆様が当金庫の面接を受けられたのはちょうど去年の今ごろから夏にかけてと思いますが、それからわずか1年足らずで日本経済を取り巻く環境は激変しました。特に輸出産業である自動車や家電の占める割合が大きい神奈川県東部にとって現在の状況は深刻です。

当金庫としてもこのような状況下で困っている中小企業のお取引先をできる限りご支援し共に歩んでいくつもりです。皆様はこれからの長い金庫の職員としての仕事の上で何回かの景気の好況、不況を経験されるでしょうが、常にお取引先のことを真剣に考える心構えが大事です。

本日の入庫式にあたって皆様をお願いしたい大事な点を三点申し上げたいと思います。

第一は信用確保の重要性についてです。他の産業と比較して金融機関の一番の特徴は信用が大事だということです。当金庫の信用はとりもなおさず職員一人ひとりの信用の積み重ねです。この点からも約束した内容や時間を守る、健全な生活を送る、真面目な執務態度や正確な事務処理、きちんとした服装等を心がけてください。

第二は自己の能力の向上つまり研修や勉強の必要性についてです。仕事をしていくためには常に自己能力の向上のための努力が必要です。当金庫では段階に応じていろいろの研修プログラムや通信教育講座がありますから積極的に参加してください。また、新聞の経済欄を読む習慣をつけてください。実際に仕事をしてみると経済記事を読んでいることが、お客様との会話や仕事をしていくことの背景としてどんなに役立つか解ると思います。

第三は心と身体の健康についてです。悩みごとや困ったことがあれば一人で考えこんだり抱え込まないで職場の上司や先輩等に遠慮なく相談してください。

先にお話ししたように景気はかなり厳しいのですが、そんなに悲観することはないと思っています。まず第一にこれまで景気は何回となく好況、不況を繰り返してきました。日本経済は最近ではバブル崩壊により大きな不況等も経験しましたが、そこから立ち直ってきたわけです。第二は当金庫の主な営業区域である神奈川県東部の潜在的な経済力の強さです。第三は当金庫と地元との結びつきの強さです。当金庫はかねてから地元のお役に立ち地元の皆様に親しまれるため努力してきました。

これからも存在感のある信頼のおける金融機関でありたいと思っています。どうか一日も早く職場に届けこんで横浜信用金庫の立派な職員となることを期待します。

### \*定期採用者内訳

・総合職	75名	(大卒：75名)
・一般職	39名	(大卒：30名 短大卒：8名 専門卒：1名)
合計	114名	男性：57名 女性：57名

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗